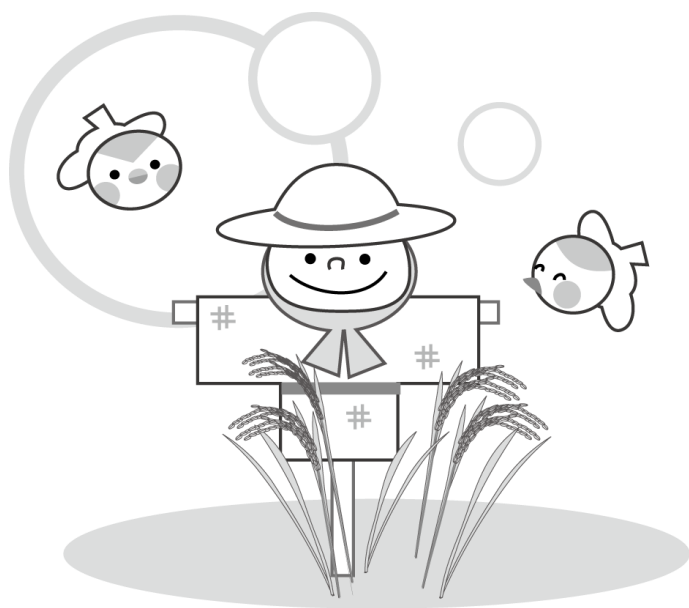


ク ロ ー バ ー

# Clover

VOL.03

2012年秋号



株式会社 さち コーポレーション  
グループホーム さち



ただいま秋の真っ最中、真っ赤に染まった紅葉に心癒されます。日本っていいな～。

お陰さまでこの11月より豊田市朝日町で「さち訪問看護ステーション」を開所することが出来ました。ありがとうございます。それに伴い、訪問看護用の車を用意することになったのですが、低燃費のエコカーを購入することにしました。なに分、常に儲けの無い仕事ですので、最初は中古車とを考えていましたが、「エコカーの方が燃費もよく環境にも優しく、価格も安い」と周りに勧められ、試乗してみることに。信号機でブレーキを踏むとエンストしたかのようにエンジンが止まり、発進と同時にエンジンがかかり、ハラハラドキドキしてしまいました。以前、信号待ちしている時に隣に止まった車がエンストしたかのように見えたのは、実はこのエコカーだったのかもしれない。皆様も私のように勘違いしないようにお気をつけ下さいね。

東日本大震災以降日本は物事の考え方が変わってきたと思います。今までのやり方や考え方でなく、地球と共に共存していく為に、急スピードで進化しています。これまた日本っていいな～。そして日本の良いところを大事に残し守り続けていきたいですね。



### ホーム長の放浪紀 第3回 『どろめ・・・の続き』

私たちが訪れた、高知県香南市で行われる『どろめ祭り』の大酒飲み大会は、昔しらす大量に取れるこの時期に漁師が海岸で酒盛りをしていたのが始まりなのだとか。この地域に隣接する高木酒造の店主が明治17年の4月に酒を振舞ったことから、毎年4月に飲み会が行われるようになり、年を重ねるごとにその人数は増え、700人以上が参加するようになってからはこの大盤振る舞いはやめて、行政に委託するようになってから、現在の全国的にも有名なのんべえのお祭りになったそうです。ちなみに、今年の優勝者は39歳の会社員の方で、なんと17.19秒で酒一升を飲み干したそうです。

一気飲みなどがうるさい今の時代にこれだけの型破りを、伝統として続けられるのは、地域の方々の支えあいや風土など、私たちが置き忘れてきたものをこの旅で見つけてきた気がしました。また印象に残ったのは、子供達は波で楽しく遊び、その傍らに消防団の方々が暖かく見守ってくれ、海岸は砂ではなく囲碁ぐらいの自然に丸くなった石でした。高知らしいたくましき風土を感じて帰ってきました。

高木酒造へは、何気なく帰りに寄ったお店でしたが、女将が気前よく試飲させてくれました。今は5代目若社長が仕切ってみえましたよ。(終わり)



このコーナーは、グループホームさちの活動をご報告いたします。

### 中学生の職場体験がありました（8月）

瀬戸市にある聖霊中学校の学生2名がみえ、二日間グループホームさちで介護のお仕事を体験されました。初日はお2人とも緊張してみえましたが、二日目はリラックスし、入居者のみなさんの前でスタッフから教えてもらった大正琴を演奏してくださったりしました。



### 矢作川天然鮎感謝祭へ行って来ました（9月）

豊田大橋の下にて開催されました『矢作川天然鮎感謝祭』へおじゃましてきました。その日早朝に行なわれた鮎釣り大会で釣ったとれたて鮎をすぐに炭火に当てて塩焼きにし、その場でいただきました。



### バーベキュー大会を開催しました（9月）

今年春に開催しましたご家族参加バーベキュー大会を、敬業の日に合わせて行ないました。前回の反省を踏まえ、たくさんの改善も行いながら、多くのご家族・ボランティアの皆様のご協力のもと、楽しいバーベキュー大会を開く事ができました。当日は、バーベキューのほかに、五平餅やかき氷、焼きそばなど、種類も豊富に揃えました。



### 第四回日帰りバス旅行を行いました（10月）

こちらでも毎年恒例となりました、日帰りバス旅行を10月2日に開催しました。今年はイルカショーを見たいという入居者の方のリクエストから「南知多めぐり」となりました。まるは食堂で名物ジャンボエビフライをいただいたあと、南知多ビーチランドへ移動してイルカショーやアシカやペンギンなどの動物たちとのふれあい体験、帰りはえびせんべいの里へ寄りショッピングなど、丸一日バス旅行をみなさんと楽しんできました。



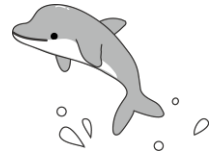
## さちのつぶやき

ここでは、グループホームさちで聞こえたつぶやいた言葉を少しずつご紹介します。

・「本当にごめんなさいねえ。自分で出来ることはやらないといけないってわかってるの。でも体がもう動かないの・・・」ある屋下がり、高齢で体が思うように動かすことのできないYさんの起床のお手伝いをしていると、泣きながら仰られた言葉です。Yさんの仰るとおり、本当なら自分の事はいつまでも自分でしたいと思うのは誰にでもあること。私達職員は、みなさんのその気持ちを大切にしながら、毎日のお手伝いをしなくては、と改めて実感させていただいた場面でした。

・「なんだぁ！孫か来るのか！それじゃ行かにゃあかん！！！」

10月の日帰り旅行の朝のできごと。腰痛でいつもお悩みのNさん。毎年日帰り旅行は腰の痛みを心配されて欠席してみえたのですが、今回はお孫さんが一緒にご参加いただけると聞き、初めてバス旅行に参加されました。久しぶりにお孫さんと過ごした時間は、きっとよき思い出となったはず・・・。



・「こんなに大きい音なら、私でも聞こえるよ〜！」10月のお誕生日のお祝いに、高橋地区で活動されてみえる和太鼓サークル「祭り火」の皆さんにお越しいただき、演奏会を開きました。室内にての演奏会でしたが、音とパフォーマンスにみなさん大喜び！極度の難聴のIさんも、とても嬉しそうにされてみえたので音が聞こえるかと確認したところ、しっかりと聴こえていたようです。文字や補聴器を通じてではなく、しっかりとご自身の耳で聴こえて、よかったなぁ〜と思った場面でした。

・「祭りになると朝から日が暮れるまでずっと山車についていっとったわ〜」

10月20日21日と、豊田市の拳母地区では伝統行事の「拳母祭り」が開催されました。さちの入居者の方の中にも、子供の頃から慣れ親しんでいた方もみえ、この季節になるとみなさん祭りの血が騒ぐようです。神社に集合した山車をみて、みなさん「今年も秋が来たなぁ」と感じられたようです。



## 拳母くころも>見聞録 第3回

第3回目は、豊田市の中でも中心地にあたる拳母地区の伝統行事、『拳母祭り』についてお伝えしたいと思います。

この拳母祭りは、毎年10月の第三土曜日に試楽、日曜に本楽祭が開催されます。全部で八輦の山車があり、試楽ではこの八輦の山車がそれぞれの町内を曳きまわり、夜は街の中心地にある拳母神社に集まって、八つの町の人々が提灯をもって五穀豊穡を祈願して境内を七周する「七度参り」が行われます。（ちなみに、この七度参りは、祭りに参加している町の若い人々が非常に興奮している事もあるせいか、毎年勢いあまってけが人が出る事もしばしば・・・）



翌日の本楽では、奉納のために拳母神社に一斉に集まり、朝10時の花火の号砲を合図に、紙吹雪とともに練り歩きます。愛知県の有形民族文化財、豊田市の指定文化財に指定される八輦の山車が、そろって拳母神社に奉納される姿は、まさに壮観な風景です。

ちなみに、このお祭りの見所は二日目の本楽で行われる「曳き込み」と「曳き出し」です。曳き込みは神社に山車が奉納される時、曳き出しは神社から山車が出て行くときです。ものすごい量の紙吹雪が舞い、なんとも言えない豪快かつ綺麗な風景が見所です。

会 場	豊田市駅前周辺及び樹木地区、 拳母神社周辺
開催時期	毎年10月第3土曜日、日曜日





このコーナーでは、みなさんから頂いたコラムやお便りをご紹介させて頂くコーナーです。

< あの唄 > 塩りん

**独り居の身を守るごと重ね着を重ねて老母のなほ細き肩**

父に先立たれて後の数年、母は一人で実家を守っていました。寒い時期に訪ねると、細身の母は七枚も八枚も重ね着をして、ふくら雀みたいでした。

このコーナーでは、皆さまからのコラムや作文、ご感想やお知恵など、さまざまな内容をざっくばらんに掲載いたします。皆さまからのご投稿お待ちしております。

投稿先：グループホームさち（担当：神谷）

投稿方法：直接手渡しでも、FAXでもEメールでもOK！

FAX:(0565)35-0806 Email:sachi@eco.ocn.ne.jp

**さち訪問看護ステーションのお知らせ**

平成24年11月5日より、豊田市朝日町にて「さち訪問看護ステーション」を開設しました。

さち訪問看護ステーションは、豊田市及びみよし市在住の方で、医師より自宅でも治療や支援が必要と診断された方を対象に、看護師や理学療法士、作業療法士などがご自宅を訪問し、医療処置からリハビリまでを行なう介護保険サービスです。

少しでも住み慣れた自宅での生活を続けたい、家族と一緒にすごしたい、そう願う方のお力になれるよう努めていきたいと思っております。

お気軽にご相談くださいませ。

『さち訪問看護ステーション』

〒471-0031 愛知県豊田市朝日町6丁目55番地3

電話(0565)42-7061 メール ns\_sachi@ark.ocn.ne.jp

## <癒しの時間> lesson 2 生姜入みかん湯

皆さんこんにちは！季節の流れもはやいもので、気がつけば晩秋となりました。秋の味覚や行楽は楽しめたでしょうか？私は芋、栗、かぼちゃや、秋の花々、色づく景色を日々楽しんでます。金木犀のふくよかな香りを運んでくれた風もすっかり冷たくなり、店頭には並びだしたクリスマス商品を見ると少しずつ冬の訪れを感じます。体調も崩しやすくなると思いますが、皆さんもお気をつけ下さいね。今回はそんな季節にぴったりの飲み物のレシピをご紹介しますね！「生姜入りみかん湯」です。

### 「生姜入みかん湯」

～材料（1人分）～

- ・みかんの皮（Lサイズで1個分、Sサイズで2個分）
- ・すりおろした生姜 一かけ分
- ・お水 200cc
- ・はちみつ お好みで



～作り方～

- ① 小鍋によく洗い小さくちぎったみかんの皮、生姜、お水を入れて火にかけます。
- ② 煮立ってきたら弱火にして2分程煮て火を止め、3分程そのまま蒸らします。
- ③ 茶漉しでカップに注ぎ、お好みではちみつを垂らして下さいね。

みかんの皮には胃腸の働きを助けたり、抗菌作用、咳止め、身体を温める作用があるそうですよ。皮を干したものは陳皮といい、漢方薬として使われています。

生姜もとても身体が温まりますね！

はちみつには殺菌、保湿作用があるのでのどがイガイガするときにはおすすめです。

ちょっと風邪をひきそうかも・・・というときや、寒くて眠れないというときにはぜひお試しください。

これから寒さも厳しくなってきますがまだまだイベント盛りだくさん！

体調に気をつけ心も身体も温かくして、素敵な年末をお過ごし下さいね。<by ゆうこ>

## ご協力ありがとうございます

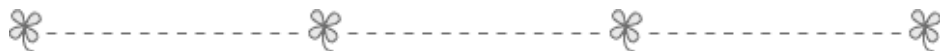
8月11日～11月10日の間に、いろんな方々からさちにご協力いただきました。

さわやか豊田のみなさん 佐橋澄雄さん 和太鼓サークル「祭り火」のみなさん  
進和観光サービスの森さん 宮崎まゆみさん 矢作川天然鮎感謝祭実行委員会のみなさん  
(順不同)

## ボランティアさん募集

グループホームさちではボランティアさんを募集しています。「ボランティアって何と何か出来ないといけないのでしょ？」と思う方もみえるかも知れません。確かに色々な特技を活かしてボランティアをして下さる方もみえますが、ほんの空いた時間に、入居者の方とお話しをしていただいたり、お茶を飲みがてら一緒に植物の手入れをしたり、ご飯作りを手伝っていただいたり・・・普段の生活にほんの少しのお手伝いをしていただけただけでも大歓迎です。お一人でもお友達同士でお越しいただいても構いません。一緒にこれからの高齢者の生活を考えながら活動しませんか？

<担当：神谷>



## 編集雑記

前回の編集雑記にも記載しましたとおり、グループホームさちではただいまたくさんのイベント真っ最中です。中でも、日帰り旅行はさちで一番大きなイベントで、企画から開催まで時間を一番掛けて行ってまいりました。その結果、今回も無事怪我も事故もなくみなさん楽しんでいただけたのではないのでしょうか。話は変わりますが、11月より新規事業として『さち訪問看護ステーション』を開設いたしました。こちらはグループホームだけでなく、ご自宅等に看護師が訪問し、リハビリや処置などを行う介護保険サービスです。皆様の身近にあるステーションとなれば幸いです。(まり)

発行 行／株式会社さちコーポレーション

〒471-0067 愛知県豊田市栄生町3-58 ☎0565-35-0805

<http://www.e-sachi.co.jp/>

発行責任者／神谷 幸子

発行日／2012年11月10日(発行予定月 2月5月8月11月)